

岐阜圏域 各医療機関の2025年に向けた対応方針【①今後の方向性】

NO	状況	医療機関名	所在地	自施設の現状等	2025年に向けて担うべき役割等	病床機能等の見直し						
						① 病床 機能	② 病床数	③医療 機関の 役割	④ 連携、 再編	⑤ その他	⑥ 現状 維持	具体的な内容
17	新規	河村病院	岐阜市	<p>【現状、特徴】 当院は、脳神経内科を主とする病院で、救急搬送を含む緊急入院や、在宅および介護施設等からの初期医療を必要とする患者の受入を、DPC算定病床である急性期病床で行っている。また、大学病院や公立自治体病院等の急性期治療の後方支援機能として、回復期、慢性期病床も併せて有するケアミックス病院である。この他に、同法人内で介護老人保健施設等の介護施設を有し、訪問診療・訪問看護、介護等の在宅医療及び在宅介護事業など、一貫通貫した患者ニーズに対応可能な、地域に必要とされている役割を担っている。</p> <p>【課題】 ・建物の老朽化による建替え ・医師をはじめとする医療従事者の確保</p>	引続き現状担っている役割を継続していく						○	現状・特徴に記載している同様の役割が今後も必要と考える為
42	新規	医療法人令明会 ゆりレディスクリ ニック	岐阜市	<p>【現状、特徴】 入院については産科医療に特化している</p> <p>【課題】 コロナによるお産数の減少</p>	地域の産科医療に貢献						○	地域の状況、ニーズを踏まえて、現状維持に努めていく